

## サフライズ!さんぱいフライズ (平成 22 年度 産業廃棄物処理助成事業)

※申請書に記載頂いた内容については当財団の個人情報保護方針に準じて個人情報と同等に取扱わせて頂きます。産業廃棄物処理助成事業の審査目的以外で使用することはありません。

### 申請資格

次のすべての条件を満たしている者としします。ただし、バイオ燃料認定研究開発事業を行う者は①、②、④を除く。

- ①産業廃棄物の処分を業として行う者又は行う予定の者（少なくとも事前協議に入っているものとする）。
- ②従業員数 300 人以下又は資本金 10 億円以下のどちらかに該当すること。
- ③過去 5 年間、廃棄物及び公害防止に関する法律等の規定による不利益処分を受けていないこと。
- ④原則として、応募事業が同一期間内に他の公的助成を受けていないこと。

なお、助成事業として決定された場合は、(財)産業廃棄物処理事業振興財団の産廃情報ネットによる情報開示を行うこと。

### (様式 1)

1. ㊦は実印を押印して下さい。

### 産業廃棄物処理助成事業申請書

#### 1. 応募事業名称

応募事業名称（仮称でも可）は 1 行程度で記入して下さい。

#### 2. 対象となる事業

対象となる事業の欄に○をつけて下さい。

対象となる事業の概要は次の通りです。

##### ① 3Rに関する技術開発事業、又は環境負荷低減に関する技術開発事業

具体的開発計画による廃棄物の処理、処分、再生利用等の開発のための実施設計、試作、試験、改良等による新処理システム等の開発であり、技術開発終了後、1 年程度以内に起業化（従来事業の効率化による収益性の向上も含む）の可能性があるものが対象となります。従って、**基礎的な技術開発は対象外**となります。

##### ② 既存にある高度技術を応用した 3R、又は既存にある高度技術を利用した環境負荷低減施設の整備事業

3R又は環境負荷低減施設の整備事業であって、その施設の設置に際し、自ら工夫し

た高度技術力を利用した装置等を付加したものであること。その工夫した装置等に対して審査をしますので、**工夫のないものは助成対象外**となります。

なお、高度技術とは次のような技術を含むものをいいます。

- イ 経済的、効率的処理ができる技術
- ロ 省力化、省エネルギーが図れる技術
- ハ 作業環境の著しい改善が図れる技術
- ニ 減量化、減容化率の向上が図れる技術
- ホ 省資源化・再資源化率の向上が図れる技術
- ヘ 環境への負荷を軽減する技術
- ト その他、産業廃棄物の処理水準の向上に資する要素を有する技術

③ 上記①、②に関する起業化のための調査事業

新しい廃棄物処理方法等を用いて起業化する場合の廃棄物排出状況調査（事業所数、事業所の場所、排出廃棄物の量および処分状況など）、または再生品販売先の開拓・市場調査が対象となります。

④ 農林漁業バイオ燃料法第12条第1項第2号の対象となる認定研究開発事業

3. 申請者

(略)

4. 産業廃棄物処分業許可証又は特別管理産業廃棄物処分業許可証の内容

2都道府県・政令市以上で許可を受けている場合は、応募事業に関連するものの中で代表となるものについて記入して下さい。

5. 連絡責任者

次のことに対応できる方を記入して下さい。

- ① 申請書の内容についての問い合わせをすることがあります。
- ② 採否の結果をFAX（又は郵送）でお知らせします。

6. 資金計画

- 支出は「9. 経費明細」から転記して下さい。
- 直接人件費は支出計の25%以下として下さい。
- 助成額は支出計の2/3以内とし、最高が500万円ですので、それ以上であっても5,000千円と記入して下さい（但し、起業化調査の場合の助成額は支出計の1/3以内とし、最高が50万円ですので、それ以上であっても500千円と記入して下さい）。
- 助成額は支出からの計算値ですので、あくまでも希望額であって、決定額ではありません。
- 助成額と収入の助成金（C）は同額として下さい。

7. 助成事業の主たる実施場所及び期間

- 申請者または連絡責任者と同じの場合は（住所）の欄に“申請者（または連絡責任者）と同じ”と記入して下さい。
- 実施期間の開始年月は、すでに取り掛かっている場合は、その年月を記入して下さい。
- 実施期間の完成年月は概ね平成22年3月となります。

8. その他

- 優良性評価制度の適合状況について、適合事業者であるか否かのどちらかに○をつけてください。（評価の参考にさせていただきます。）

- 優良性評価制度の適合事業者である場合、適合確認された自治体名を記入し、許可の種類（産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業）に☑をつけてください。
- 自社HPが有る場合はそのURLを記入して下さい。

### 9. 経費明細 (p. 4 に記入例)

- ① 助成対象経費は、事業実施に直接必要なものが対象ですので、管理費、事務費等の間接費は除いて下さい。
- ② 材料・機械器具購入経費
  - イ 試作、開発に要する原材料及び副資材費等
  - ロ 試作、開発等に用いる機械・装置等
  - ハ 試作、開発等に用いる型、器具及び道具類
  - ニ 試作、開発等に用いる機械・装置等のレンタル料
- ③ 外注等外部委託費
  - イ 設計料、外注加工費及び試験依頼等経費
  - ロ 専門機関によるデザインの委託経費
  - ハ 調査委託費、広告宣伝費等の経費
- ④ 専門家謝金等
  - イ 専門家への技術指導の謝金、原稿料及び旅費等
- ⑤ 直接人件費
  - イ 助成事業に直接従事する研究職員、設計職員、研究補助者等で時間給は職種に関係なく、1,500円とします。
  - ロ 作業準備、打合せ、資料収集等の間接業務は対象外です。

### 10. 助成事業の詳細 (p. 5 に記入例)

- ① **助成事業振興委員会の審査資料**となりますので、専門家以外の方がわかるように図示する、専門用語に注釈を付けるなどして記入して下さい。
- ② 対象となる事業ごとに記入項目が異なりますので、注意して下さい。また、記入が必要な個所は必ず記入して下さい。

項目 対象事業	(i) 新規性	(ii) 優秀性	(iii) 事業性	(iv) 実施体制	(v) 場所確保	(vi) 実施方法
① 技術開発	○	○	○	○	○	○
② 高度技術施設		○	○	○	○	○
③ 起業化調査		○	○	○	△	○
④ バイオ燃料認定研究開発事業	○	○	○	○	○	○

注) ○：記入する必要がある項目

△：ケースによって記入する必要がある項目

- ③ (1) 助成事業の内容、(2) 助成事業の詳細、(3) 周辺環境との調和性、公害対策、労働安全対策  
出来るだけ具体的かつ簡潔に記入して下さい。また、記入欄が不足の場合は、別紙(A4判)に記入して下さい。
- ④ (4) 助成事業計画の日程表  
スケジュール(交付決定(平成23年3月予定)後から約1年間)は項目ごとに、時系列を追って○印を付して記入して下さい。また、すでに取り掛かっている場合はその年月から記入して下さい。

## 9. 経費明細—記入例

(交付決定後からの経費が助成対象となります。)

経費区分	内容	数量	単価(円)	金額(千円)	使 途	備 考
材料・機械機器購入経費	—機械購入	1		1,000	廃棄物の分別・洗浄	(株)**から購入予定
外注等外部委託経費	機械の加工	1		500	廃棄物の性状に調整	(有)***に依頼
専門家謝金等	技術指導	1		400	公害防止に関すること	(株)++コンサル
直接人件費	財団太郎	100	1,500	150	機械の運転	(有)***の社員
合 計						

(注) 1. 助成対象経費(消費税含む)は、事業実施に直接必要なもののみです。

2. 経費区分は、申請書記入要領を参考にして下さい。 3. 経費区分ごとに小計を出して下さい。

4. 千円未満は切り捨てして下さい。 5. 金額欄は、見積り額(予定)を記入して下さい。

6. 備考欄記入事項 (◎材料・機械機器購入経費…購入予定先、予定使用企業 ◎外注等外部委託経費…発注予定先企業、担当予定企業 ◎直接人件費…担当予定企業)

## 10. 助成事業の詳細－記入例

### (1) 助成事業の内容

(記入対象事業)

- ① 3Rに関する技術開発事業、及び環境負荷低減に関する技術開発事業（以下、「技術開発」という。）
- ② 高度技術を利用した3R、及び高度技術を利用した環境負荷低減施設の整備事業（以下「高度技術施設」という。）
- ③ 上記①、②に関する起業化のための調査事業（以下「起業化調査」という。）
- ④ 農林漁業バイオ燃料法第12条第1項第2号の対象となる認定研究開発事業（以下「バイオ燃料認定研究開発事業」という。）

(記入内容・項目)

- 産業廃棄物業界における助成事業の位置付け（背景）など。
- 助成事業に関連する技術開発または施設整備等での他の補助金等の応募状況、及びそれらと助成事業との違い。
- 処理フロー等を記載して、助成事業の概要を説明。
- 処理フローに主な物質収支を記入。
- 今回の目玉となる点。
- 「(2) 助成事業の詳細」の概要およびそれ以外に特記すべきこと。  
(専門家以外にもわかるように図表等を使用して記入して下さい。)

### (2) 助成事業の詳細

(i) 新規性（記入対象事業：①技術開発、④バイオ燃料認定研究開発事業）

(記入内容・項目)

- 産業廃棄物処理業界において、今回の応募事業が従来にない新しい要素、新技術、新システムなどであることを具体的に記入して下さい。  
(専門家以外にもわかるように図表等を使用して記入して下さい。)
- 申請技術に係る基礎データ等がある場合は、申請書に記入するか、申請書に資料を添付して下さい。

(ii) 優秀性（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃料認定研究開発事業）

(記入内容・項目)

- 従来の技術と比較して、省力化・省エネルギー・減量化・減容化・選別分別・再資源化・無害化・公害防止などが優れていることを具体的に記入して下さい。  
(専門家以外にもわかるように図表等を使用して記入して下さい。)
- ②の事業については、優秀性がわかるような基礎データ等を申請書に記入するか、申請書に資料を添付して下さい。

(iii) 事業性（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃料認定研究開発事業）

(記入内容・項目)

- ①、②、④の事業については、助成事業を起業化（従来事業の効率化による収益性の向上も含む）しようとする時の状況を以下の項目例を参考に具体的に記入して下さい。
- 受入廃棄物の質および量の確保をどのようにするのか。

- 受入料金をいくらとするのか。またその料金は周辺状況と比較してどうか。
- 残渣の処分をどのようにするのか。処分料金はどの程度を見込んでいるのか。
- 有価物（又は製品）の性状、品質等（利点、難点なども含む）を記入して下さい。
- 有価物（又は製品）の販売価格をいくらとするのか。販売方法はどのようにするのか。
- 最終的な事業収支をどのように見込んでいるのか。3～5年間の収支を記載して下さい
- 助成事業が産業廃棄物処理業界へ普及し、資源循環型社会システム構築に寄与していく可能性があるかどうか。

③の事業については、調査の前提となる技術開発や高度技術施設整備における事業性  
の見込みについて、上記の項目を参考に具体的に記入して下さい。

(iv) 実施体制（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃料  
認定研究開発事業）

(記入内容・項目)

- 助成事業を実施するために技術スタッフは必要か。どのような人をそろえるのか。
- また、その状況はどのようになっているのかについて具体的に記入して下さい。
- 助成事業の実施体制をどのようにするのか、その状況はどうなっているのか。
- 外部組織（大学、企業）との連携等を行っている又は今後検討していく場合は申請事業  
における申請者と外部組織それぞれの役割と体制及び連携の経緯等。について具体的に  
記入して下さい。

(v) 場所の確保（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃  
料認定研究開発事業）

\*③起業化調査については、新しい廃棄物処理方法等を用いて起業化する場合の調査  
のみ記入して下さい。再生品等の販売先開拓・市場調査は記入の必要はありません。

(記入内容・項目)

- 助成事業を起業化する場合の実施場所として、場所が確保できるか否か。また予定地が  
あるかどうか。などの状況を具体的に記入して下さい。また、実施場所の写真等詳しい  
資料がある場合は申請書に添付してください。
- 新設の場合は設置許可がとれる場所がある、或いは既設に敷地がある場合は変更許可が  
とれる場所がある。などの状況を具体的に記入して下さい。
- 実施（予定）場所の所在地。

(vi) 実施方法（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃料  
認定研究開発事業）

(記入内容・項目)

- ①技術開発、②高度技術施設及び④バイオ燃料認定研究開発事業については
- どのような検討課題があるのか。
  - その課題を解決するための実施方法について具体的に記入して下さい。
  - 試作品がある場合は、試作品の写真または郵送できるような場合は現物を申請書に添付  
してください。
- ③起業化調査については
- 新しい廃棄物処理方法等を用いて起業化する場合の廃棄物排出状況（事業所数、事業所  
の場所、排出廃棄物の量および処分状況など）の調査方法を具体的に記入して下さい。
  - 再生品販売相手の開拓・市場調査方法（パンフレット作成、展示会出品、宣伝媒体など  
を含む）を具体的に記入して下さい。

(注) 記入欄が不足の場合は、別紙（A4版）に記入して下さい。

## (3) 周辺環境との調和性、公害対策、労働安全対策

(記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、④バイオ燃料認定研究開発事業)

(記入内容・項目)

- 助成事業を起業化する場合の周辺環境に与える影響（景観、住民感情など）で考慮すべき事項。また、それらの対処方法。
- 助成事業を実施する場合の公害対策、労働安全対策について記入して下さい。

## (4) 助成事業計画の日程表（記入対象事業：①技術開発、②高度技術施設、③起業化調査、④バイオ燃料認定研究開発事業）

作業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
システムの設計	○—○												(株)---コンサルと協議
A機器購入・設置			○—○										(株)○○
A機器の試運転				○—○									自社
A機器の改良等							○—○						(株)△△
B装置の設置							○—○						(有)××
B装置の試運転								○—○					自社
AとBとで試運転										○—○			自社

(注) 1. 作業項目の欄に計画の実施項目を記入し、その実施期間を横の棒線で示して下さい。

(開始と終了は○印で示す。例○—○)

2. 備考欄には、主な機械設備又は外注先等の名称を記入して下さい。